



古中だより「坂道」

くめざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和4年度 第28号

3月14日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 上野 康生

～ 第48回卒業証書授与式 39名が巣立ちました ～

3月13日(月)、第48回卒業証書授与式が挙行されました。39名の卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業生の輝かしい未来に幸多かれと心より祈っております。

当日は曇天ではありましたが、春の到来を感じさせる暖かな空気を感じながら、岡部光徳町長様をはじめご来賓の皆様のご臨席のもと保護者の皆様に見守られ、厳粛な雰囲気の中にも温かみのある感動的な卒業式となりました。

在校生を代表して矢内漣君(2年生)が述べた送辞、卒業生を代表して加藤魁人くんが述べた答辞、校長式辞を一部抜粋してご紹介します。



<送辞>

こうして先輩方の姿を目にしておりますと、数々の思い出が浮かんでまいります。

私達が古殿中学校へ入学した時、先輩方のかっこいい姿に驚かされたことを今でもはっきり覚えています。三年生の皆さんは、私達の先輩として、生徒会活動や部活動など、様々な場面で、時には優しく、時には厳しく、熱心に私達をリードしてくださいました。そんな頼もしい先輩方と過ごしていると、「私達も先輩方のようにになりたい。」と自然に心が奮い立たされました。

常に私達の心に寄り添い、励ましてくれた先輩方。そんな先輩方とのたくさんの思い出の中でも忘れられないのは、私達の先頭に立って導いてくださった部活動です。日々の練習の中で、一つの目標に向かって努力し、私達に丁寧に指導してくださったことは、大きな励みでした。「練習についていけるだろうか」など、不安な私達の気持ちを温かく受け止め、優しい言葉をかけてくださった先輩方。本当にありがとうございました。自分の記録に果敢に挑戦する姿。仲間と力を合わせて勝利をつかもうとするたくましい姿。それらの姿は常に私達の目標であり、憧れでした。目標を実現したときの達成感や粘り強く頑張ることの大切さなど、先輩方に教えていただいたことを忘れずに、目標に向かって部活動に全力で取り組んでいきます。

そして、先輩方の頼もしさと団結力の大切さを実感したのが、玲瓏祭でした。「Colorful」というテーマのもと、全校生が一丸となって取り組み、大成功を収めました。全校生の中心となり、活動を支えてくださるリーダーシップや、常に笑顔で仕事をこなす姿に、先輩方のすごさを実感しました。また、学年発表での「ライオンキング」の完成度は圧巻であり、会場中に響き渡ったあの拍手は、努力の全てを物語っていました。その中でも、私達が大きな感銘を受けたのは、三年生の合唱でした。各パートの歌声が響き合い、美しいハーモニーを奏でる様子は、とても格好よいものでした。この合唱にも最後の玲瓏祭にかける熱い思いを感じました。

今、こうして振り返ると、先輩方は常に私達の憧れであり、目標であり、何より心の支えでした。そんな先輩方が自分の夢や目標の実現のために努力してこられた姿をずっと追いかけてきました。これからは、先輩方が築き上げてこられた伝統を受け継ぎ、教えて頂いたことや先輩方とのたくさんの思い出を胸に、今度は私達が古殿中学校を背負っていけるように一步一步進み、頑張っていきたいと思います。これまでは先輩方の後ろ姿を追いかけるだけの私達でしたが、これからは先輩方のように輝かしい足跡を残せるように、何事にも全力で取り組んでいくことを約束します。

先輩方は四月から、それぞれ新しい道に進まれます。その道のりは決して平坦なものではなく、苦しく感じる時もあるでしょう。そんな時は、この古殿中学校で学んだことを思い出し、乗り越えてください。そして、私達後輩をここまで成長させてくれたのも、先輩方だということを忘れないでください。

名残はつきませんが、いよいよ皆さんとお別れする時が近づいてきました。私達、在校生は皆、先輩方が大好きです。そして、皆さんの後輩であったことを誇りに思います。



<答辞>

校長先生から一人ひとりに晴れの卒業証書を手渡していただき、これまで友と歩んできた三年間の日々が鮮やかによみがえってきました。

小学校の卒業式は、新型コロナウイルスの影響で、休校の中で制限された寂しい卒業式でした。それでも少しずつ制限が緩和され、本日無事に三十九人の仲間と共に卒業式を迎えることができとても嬉しく思います。思い出すと三年前、私たちはずっと憧れだった初めての制服に身を包み、希望と不安を胸に、中学校生活を新たにスタートさせました。これから始まる新しい生活に胸を躍らせていたあの頃が懐かしく感じられます。マスクでの生活が日常となり、黙食や距離を開けての生活でしたが、仲間と過ごした毎日は密そのもので、一生忘れられない宝物です。

何もかもが初めてだった一年生の私たちを引っ張ってってくれた先輩。部活動や、生徒会活動、学校行事で活躍する姿はとても大きな存在でした。英語だらけで苦戦して、声をかけ合いながらのプリティッシュヒルズ研修。二泊三日を共に過ごす中で一体感が生まれました。

先輩としての一步を踏み出した二年生。様々なことを学び、「働く」ということの厳しさと喜びを実感した職場体験。これから社会に出る私たちにとって貴重な経験となりました。こうした経験は、私たちに夢を与えてくれて、将来を考えるきっかけとなりました。

中学校生活最後をキーワードに、一つにまとまった三年生。新型コロナウイルス感染症の影響で直前に行き先が変わった修学旅行。観光地を訪れ、日本の伝統文化にふれ、東北ならではの牛タンも食べることができ、楽しい三日間は、あっという間に過ぎていきました。石巻での震災学習では、地震と津波の怖さを改めて学び、命の大切さを考えました。「仲間と共に学ぼう enjoy! 修学旅行」のスローガン通り、仲間との絆が深まる大切なひとときになりました。

心も体も成長できた全力を注いだ部活動。厳しい練習に逃げ出したくなる時もありました。けれど、それを分かち合える仲間がいてくれたから、先生方の温かい助言があったから、頑張ることができました。数少ない大会の中で、優秀な成績を収め、表彰を受ける友の姿はとても輝いていて仲間として誇りに思いました。

「Colorful～一人一人が主人公～」のテーマで開催された最後の玲瓏祭では、私たち三年生は「ライオンキング」を発表しました。はじめ、やると聞いた時は三十九人でできるのか?と不安でいっぱいでした。私が一からの衣装作りやセリフ覚えに苦戦しているときには、仲間が「手伝う?」と声をかけてくれたこと今でも心に強く残っています。さらに、放課後遅くまで最高のライオンキングを作り上げるために全員が必死になる姿は青春でした。おかげで本番、アリーナ全体に歌、演技する声が響き渡り、見る人を感動させることができ、「本当にやってよかった」と思えるようになりました。最高なメンバーとの玲瓏祭を成功に導いてくださった先生方、共に頑張ってくれた在校生の皆さん、私たちは最高のチームでした。

在校生の皆さん、みなさんがいてくれたからこそ、私たちは最高学年としての自覚をもち、頑張ることができました。また、いろいろな場面で皆さんの温かいサポートがあったことにも感謝しています。振り返ってみれば、中学校生活はあっという間です。これからの日々の中には、楽しいことも困難なことも、多くの事が待ち受けているでしょう。しかし、決して諦めないでください。一生懸命な姿は、輝いています。その輝きを持ち続けていてください。一日一日を大切に充実した学校生活を送ってください。

先生方。私たちを支えてくださり、ありがとうございました。友達のように、楽しい時間を過ごし、時に、厳しく指導していただき、成長することができました。これからの日々の中に、もう、そのような時間がないと思うと、とても寂しいです。今まで過ごしてきた日々を、先生から学んだことを決して忘れません。そして、いつもそばにいてくれた家族へ、私たちのことを第一に考え、一番近くで応援してくれて大事に育ててくれてありがとう。「家」という暖かな存在は心を癒す支えとなってくれました。もう子供じゃないけれどまだ大人になれないでいる私たちは、家族の支えなしでは生きていくことができません。大切に、大好きな家族。これからもよろしくお願ひします。

最後になりましたが、校長先生を始め、先生方、今まで親身になってご指導いただき本当にありがとうございました。三年生のみんな。まだ、この仲間と一緒にいたい。笑い合っていたい。そんな気持ちがあふれています。これからは、それぞれの道に歩むこととなりますが、高校生になっても中学校で培った経験を活かしていきます。

また逢う日まで。私たちは、自ら選んだ道を歩いていきます。

古殿中学校の生徒で本当に良かったと思います。



<校長式辞>

思い起こせば三年前の春、皆さんは希望と期待に胸をふくらませてこの古殿中学校に入学してきたわけですが、新型コロナウイルス感染症がまん延し、中学校生活に慣れる間もなく、四月二十二日から五月二十日までの約一ヶ月もの間、臨時休業となる極めて異例な中学校生活のスタートとなりました。その後も皆さんが楽しみにしていた数々の行事や部活動の大会等の中止や延期、変更の数々、学校生活でもあらゆる場面でのマスクの着用や給食の黙食等、皆さんには本当に辛い思いをさせていただきました。そして、何より感染予防のため、学校に来たくても来られない生徒の皆さんが大勢出てしまったことに何度も心を痛めました。

このように様々な我慢を強いられた皆さんですが、そのような中で何事にも一生懸命に取り組み、立派に成長して今日の晴れの日を迎えられたのは、皆さん一人一人の努力の賜物です。どうか、この辛い経験の中で得たもの、そしてご家族をはじめ皆さんを支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。

さて、私は二年間、皆さんとともに学校生活を送りました。皆さんと出会った当初は、物静かで落ち着いた学年という印象を持ちましたが、一方で、最上級生になるにあたり、活気や自分を表現する力がもう少し必要ではないかという心配もありました。しかし、最上級生となった今年一年、皆さんはそのような心配を見事に打ち消しました。中でも印象に残っているのは、本来であれば修学旅行で観劇するはずだった「ライオンキング」を玲瓏祭で披露した姿です。一人一人が自分の個性を発揮し、学年が一体となって演じた完成度の高い劇に、会場全体が魅了されたことを今でも覚えています。また、中学生議会でふるさと古殿町を活性化させるためのアイデアを次から次へと提案するなど、皆さんのふるさとを愛する熱い思いを感じることができました。

そして、何より最上級生としての立派な姿を見ることができたのは、何気ない日々の授業です。いつ授業を参観に行っても、全員が真剣なまなざしで授業に臨んでいました。授業に真剣に取り組むことは当たり前なことなのですが、当たり前なことを当たり前に行えることに大きな価値がありますので、どうぞ、そういった姿勢を今後も大切にしてください。

いよいよ、四月からは将来の夢の実現に向けて一人一人が新たな道を歩むこととなります。大きな期待の中に、不安も入り交じっていることと思いますが、たとえ困難に出会っても、頑張っている自分を信じ、皆さんを応援してくれる家族や友人、先生方をはじめ多くの方々の支えに感謝しながら、夢の実現に向けて、決して諦めることなく力強く歩いてください。

～ 東日本大震災を風化させないために ～

今から12年前の3月11日、午後2時46分に東日本大震災が発生し、その後の福島第一原子力発電所の事故も重なり、福島県では四千人以上の尊い命が奪われました。そして、今なお200名近くの方々が行方不明となっています。

生徒たちは当時1～3歳ということで、鮮明な記憶が残っている生徒は少ないと思いますが、決して風化させてはならないと考えています。学校では、11日が土曜日であるため、**10日(金)、地震が発生した午後2時46分に全校生、全教職員で黙祷を捧げ、改めて、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りしました。**

私たちの古殿町は復興が進み、概ね震災前の生活を取り戻していますが、福島県内には今なお自宅に戻れず3万人近くの方々が避難生活をしていたり、今でも風評被害に苦しんでいたりする方々がいることを忘れてはなりません。

最近では、地震はもとより大雨による土砂災害や洪水、火山の噴火、大雪などの自然災害が日本全国を見渡すと毎年のように起きています。中にはいずれ別の土地で生活する生徒もいることと思います。**自分の住む土地にはどのような自然災害が起こりやすいのか、どのような準備が必要なのか、そして、起こってしまったらどのように行動すればよいのかなど、この機会に改めて防災・減災について家族で話をする機会をもつてほしいと思います。**



～ 数々の素晴らしい功績や努力の結晶に拍手を！ ～

10日（金）に令和4年度生徒表彰式を行いました。表彰を受けた生徒の皆さん、本当におめでとうございます。表彰を受けたことを誇りに思い、今後ますます活躍することを祈っています。

受賞者は次の通りです。

<p>【生徒会功労賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会会長 加藤 魁人 ・生徒会副会長 小針 星砂 矢内 漣 ・ 庶 務 久保木琉唯 酒井 佑真 矢吹 優花 鈴木 理央 	<p>【功労賞（専門委員会・応援団）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規律委員会委員長 大樂 步未 ・学習委員会委員長 岡部 日和 ・保健給食委員会委員長 瀬谷 響貴 ・環境美化委員会委員長 水野 恵介 ・図書広報委員会委員長 緑川 晶悟 ・放送委員会委員長 遠藤 美和 ・応援団団長 水野 李空 ・応援団幹部 岡部 沙耶
<p>【功労賞（部活動）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球部部长 小針 星砂 ・ソフト部部长 久保木琉唯 ・男子バスケ部部长 野崎 友大 ・女子バスケ部部长 木戸 綾乃 ・男子卓球部部长 瀬谷 響貴 ・女子卓球部部长 遠藤 美和 ・剣道部部长 駒木根康矢 ・美術部部长 佐藤 徠夢 ・特設合唱部部长 矢吹 優花 ・特設陸上部部长 小針 星砂 ・特設駅伝部部长 野崎 友大 	<p>【特別賞（文化・スポーツ）】</p> <p>(1) 県中体連陸上大会男子共通砲丸投 第1位（全国大会出場） 東北中体連陸上大会男子共通砲丸投 第2位 ○ 3年2組 酒井 佑真</p> <p>(2) 県中体連陸上大会男子3年100m 第4位（東北大会出場） 全国リレーフェスティバル出場 ○ 3年1組 小針 星砂</p> <p>(3) 実用英語技能検定 2級合格 ○ 3年1組 久保木琉唯 ○ 3年2組 岡部 将也 実用英語技能検定 準2級合格 ○ 3年1組 駒木根康矢 野崎 未那 ○ 3年2組 石束 真紀 鈴木 大翔 ○ 2年1組 薄井 環太 矢内 漣 ○ 2年2組 有賀 悠月</p> <p>(4) 日本漢字能力検定2級合格 ○ 2年1組 鈴木 理央 日本漢字能力検定準2級合格 ○ 3年1組 久保木琉唯 ○ 3年2組 石束 真紀 大樂 步未 ○ 2年1組 青柳 優菜 鈴木 理央 ○ 2年2組 齋藤 蒼空</p> <p>(5) キャッチボールクラシック全国大会出場 ○ 野球部</p> <p>(6) 県書きぞめ展 書きぞめ奨励賞 ○ 3年1組 遠藤 美和 ○ 1年1組 有賀 羽美</p>
<p>【皆勤賞】（3年間無欠席・無遅刻・無早退）</p> <p>○ 3年1組 岡部 沙耶 岡部涼太郎 木戸 綾乃 窪木まひろ 久保木琉唯 小針 星砂 瀬谷 響貴 常盤 省吾</p> <p>○ 3年2組 岡部 将也 瀬谷 倖大 大樂 步未 水野 恵介 矢吹 優花</p>	
<p>【精勤賞】（3年間無欠席）</p> <p>○ 3年1組 遠藤 美和 佐川 一樹 鈴木 来夢 瀬谷 佑輝</p> <p>○ 3年2組 加藤 魁人 鈴木 大翔</p>	

